

自民党 横浜市議員

旭区若葉台版

佐藤 茂 政策レポート

プロフィール

- 昭和30年2月13日生
- 関東学院大学文学部卒
- 衆議院議員 佐藤一郎秘書
- 平成3年横浜市議員初当選
(以降連続8回当選)
- 社会福祉法人恵泉会代表
- 第45代横浜市議長

若葉台に新交通システムの導入を！



自民党 横浜市支部連合会会長代行

横浜市が招致を目指す『花博』(2026年予定)に向け、
新型交通システムを導入します。
若葉台の交通環境を改善し、より活気ある街へと整備を進めます！

私は2026年に、上瀬谷通信施設跡地(旭区上川井町、瀬谷区北町242ヘクタール)に花博招致を実現するため行政当局と力を合わせ、菅官房長官、国際的イベント招致に経験豊富な政府関係者、財界人、メディア等に支援要請を行っております。242ヘクタールの内4割は民有地ですので、跡地の有効利用には、ハリウッド映画のテーマパークを始め、横浜西部地域発展の起爆剤となる開発が行われるよう努めて参ります。

いずれにせよ、大規模な開発に伴い、瀬谷駅より上瀬谷通信施設跡地に向け、大量輸送手段である公共交通が必要となります。新交通システムを瀬谷駅から開発地域へと整備し、その後、若葉台を経由させ、十日市場、または長津田駅に延伸することを推進し、若葉台の交通不便を解消します。

新たな新交通ルートは、
「瀬谷駅」を始点に、
終点を「長津田駅」、「十日市場駅」、
経路地を「若葉台」の計画で
考えています。



菅長官とも連携し、
各々の事業に多大なご支援を
頂いております。

鉄輪では無くゴムタイヤで走る新しい電車などのことを、
新交通システムと言います。横浜市では新杉田から金沢
八景までを走るシーサイドラインがそうです。



横浜市が新交通システムを検討しているのは、相模鉄道瀬谷駅(横浜市瀬谷区)と、15年に返還された米軍上瀬谷通信施設(瀬谷区、旭区)跡地を結ぶ2キロほどの区間。市は2026年に開催される「国際園芸博覧会(花博)」を跡地に招致する方針で、半年間の会期中に最大約1500万人に上る来場者の輸送需要を見込んでいます。

2026年

EXPO 花博の実現に全力をあげます！

花博招致への市民意識を高め、機運を盛り上げていくために
大規模コンサートや地域の地産地消をテーマとする食フェスの開催。

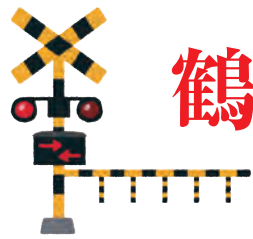
旭区上川井町と瀬谷区北町に広がる(242ヘクタール)、長い間米軍に接収されていた旧在日米軍通信施設(通称 上瀬谷通信施設)が、私達の長年の返還運動により、2015年6月に返還されました。東京ドームの約51個分の広さです。私は2026年この地に、国際園芸博覧会(EXPO花博)招致する事を推進しています。

また、招致実現に不可欠である《市民の機運》を高める為、メディアやイベントに「みんなの力で国際園芸博覧会を成功させよう!」冠イベントの開催を呼びかけ、花博成功の意識を高めて行きたいと思います。

242ヘクタール中、約4割は民有地です。横浜のブランド力を高め、国家戦略特区を活用し、横浜西部地域に活力を生み出す開発に成るよう、テーマパークの招致を始め、横浜の魅力創り、みなとみらい開発に匹敵する横浜の観光スポットになるよう努めて参ります。



※写真はイメージです。



鶴ヶ峰駅付近、開かずの踏切を除去します!

第45代横浜市議長として様々な懸案事項を善処させることができ、
旭区の将来の夢を描く事のお手伝いことができました。

相模鉄道本線の鶴ヶ峰駅付近の渋滞を解消!!
地下方式による連続立体交差事業は、
2033年に完成予定です。



念願の地下化へ!!

鶴ヶ峰の駅前が開かずの踏切が大きな問題でした。通勤通学の足を止め、一刻を争う救急車も前に進めません。悲願だった『相鉄線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業』で、相鉄を地下化します。これにより10ヶ所の踏切が除去され、慢性渋滞も解消されます。災害時の緊急活動もこれからは迅速化されます。完成は2033年の予定です。

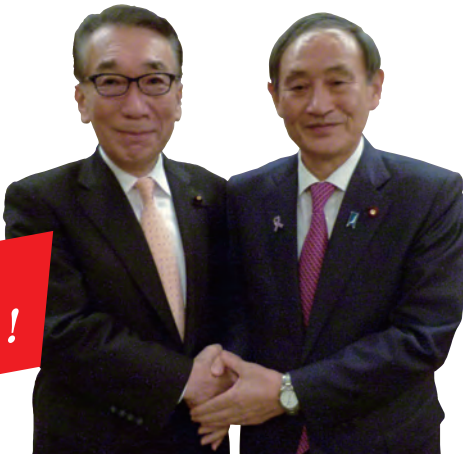


渋滞解消へ!!

いよいよ2019年度『相鉄・JR』直通線が開業します。



新宿、渋谷へ!!
新横浜へ! 便利な直通化!



「相鉄・JR・東急」の直通化は、前横浜市議員と共に横浜市政に取り組んできた菅官房長官と力を合わせ進めて参りました。相鉄・JR直通化は2019年の年度内に。東急線との直通化は2022年開通予定です。新宿・渋谷へ乗り換えなしでつながります。鶴ヶ峰から新横浜へ行くのにも、わずか10分です。通勤・通学にも大変便利になります。遅滞なくこの直通化の事業が行われるよう周辺整備に尽力しています。



自民党 佐藤 茂の基本政策5項目

1 横浜経済の活性化と雇用の安定



アップル社を誘致することができたように、企業誘致を積極的に進め、中小企業基本条例を活用し、市内経済の活性化をはかります。また、働く意欲を持つ高齢者がいつまでも働くことができるような社会づくりに努めます。

2 安心して子育てできる旭区に



女性の活躍、社会参画をサポートする為に、保育所整備を積極的に行い子育てを応援します。そして、働く女性を応援するための施策を充実させ、安心して働き続けられる環境を整えて参ります。

3 環状鉄道 市営地下鉄4号線を中山から二俣川へ延伸!



推進議連会長として奮闘!
旭区の連合町内会長会始め、旭区のみならず多くの市民の皆さんから強い要望がある環状鉄道の延伸ですが、関わる行政区の超党派の推進議員連盟の会長として、林横浜市長をはじめ、管内閣官房長官へも強く要望し、実現に向け最大限の努力をしています。

旭区の人口は約25万人。求められているのは、子育てと高齢化への確かな未来図。誰もが健康で、生き生きと暮らせるように、旭区の未来づくりを皆さんと一緒に実現していきます。



4 健康寿命延伸、安心の高齢社会へ



高齢者が生き生きと健康で暮らす事が重要です。そして、介護が必要になっても、住み慣れた家庭で暮らすことができるように、気軽に受け入れてくれる短期入所の施設整備や、訪問医療や看護が行き届く社会づくりを目指し、政策提言を進めています。

5 財政健全化に努めています



私は自民党市議団団長在任中、議会主導の事業仕分けを行い、市民参加の公の場で、税金の無駄遣いに斬り込みました。その結果幾多の無駄な事業は廃止させ、民間に移譲出来る事は任せ、市が継続して行う事業でも改善を要求し、財政健全化の道筋をつけました。その後、自民党主導で財政健全化条例を制定し、首長が甘い予算計画をしないよう歯止めをかけていますし、私も厳しく見ていきます。

今春の4月7日は、統一地方選挙です。横浜・旭区の未来のため、ずっと住みたい!と思える街づくりに力を入れ、全力で頑張っています。